

NASシリーズ 施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

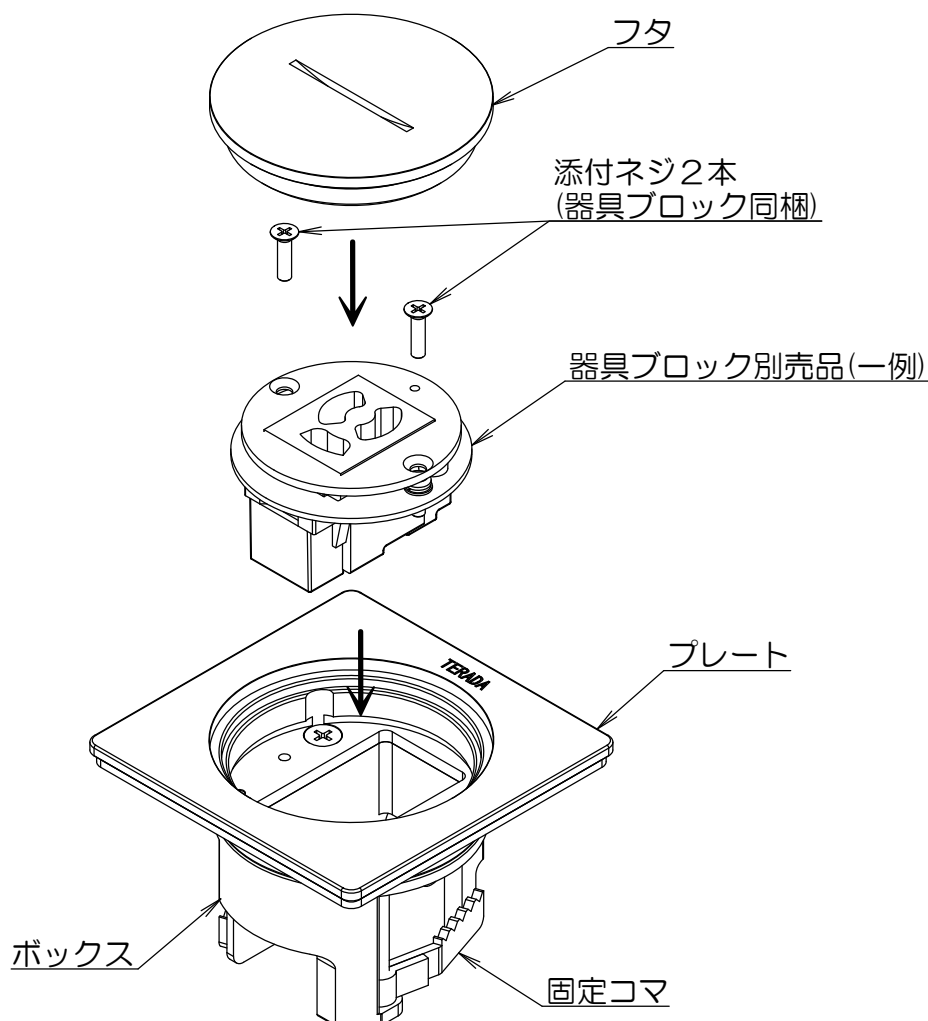
※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

 警告	
 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
 必ず守る	◆結線は所定の方法で、確実にこなってください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
	◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。

 注意	
 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
	◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
	◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
	◆床暖房が施されている床に施工する場合はボックス内の結露に十分ご注意ください、熱源からの距離を確保してボックス内温度が-10～+40℃を超えないようご使用ください。 ⇒漏電・感電・火災の原因となります。
 必ず守る	◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆各取付ネジは確実に固定してください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。 (インパクトドライバーの使用不可)

◆部品構成と名称



◆注意◆

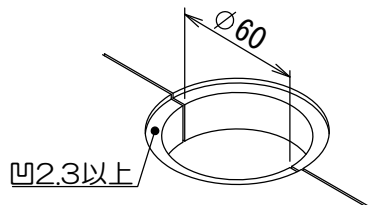
- ・取付用ネジは、定期的に増し締めを行ってください。

施工方法

1 床材の開口

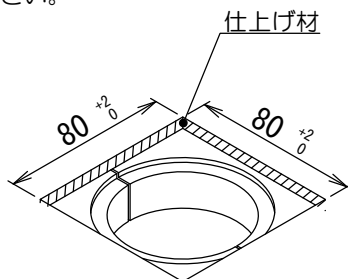
フリーアクセスパネルの開口寸法を確認してください。

パネル厚：20～35mm
パネル床高：75mm以上



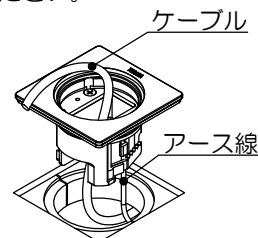
2 仕上げ材の開口寸法

床仕上げ材を敷き、 $\square 80$ で開口してください。



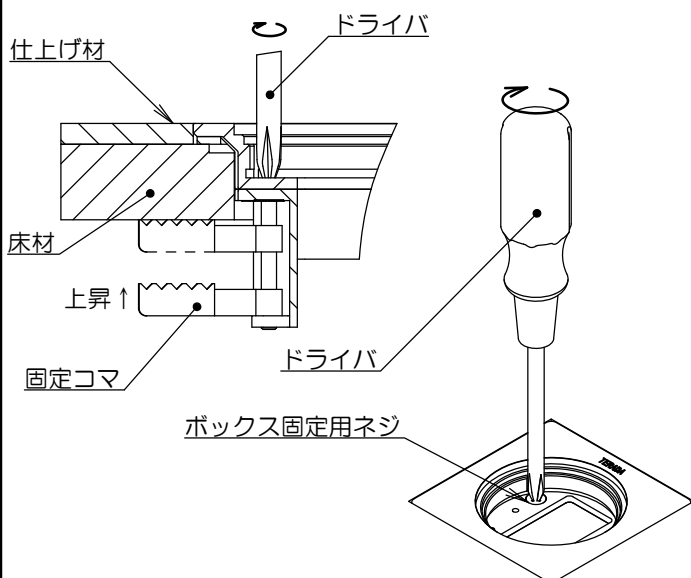
3 ケーブルの引き出し

ケーブルとアース線をパネル開口部から引き出し、ケーブルはボックス内に引き入れてください。アース線は本体サイドのネジ部に固定してください。



4 本体の固定

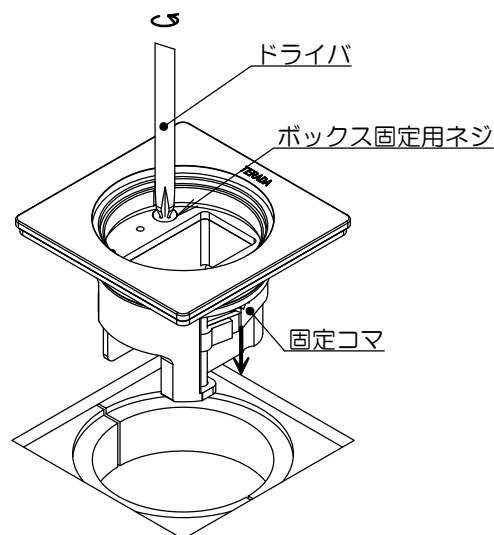
ボックスを開口に収め、ボックス固定用ネジを締め込み固定コマで床材を挟みます。
(推奨締め付けトルク：1N・m)



※ボックス固定用ネジは緩む場合がある為、定期的に増し締めを行ってください。(器具ブロックを外す必要があります)

(注) 本体固定時の注意点

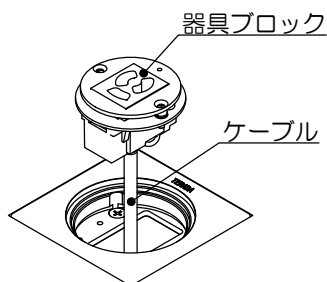
床材への取付をやり直す場合は、必ずボックス固定用ネジを反時計回りに回し、固定コマを一番下に下げてからやり直してください。固定コマが一番下に下がった状態で更にボックス固定用ネジを反時計回りに回すと破損や機能不良の原因となります。また、固定コマを一番下に下げずに施工を行った場合、床材を挟み込むことが出来ず、製品を破損する恐れがあります。



5 器具ブロックの配線

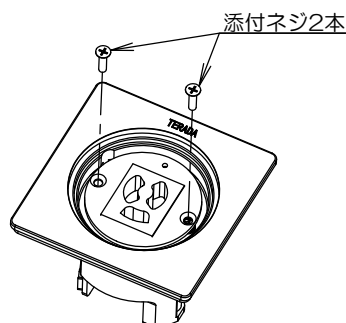
ケーブルを配線器具に接続してください。配線方法については各コネクタの配線方法に従って行ってください。

※情報用モジュラージャック(CAT.5E/6/6A)の専用成端工具は付属していません。



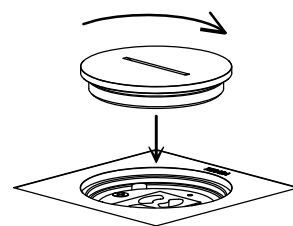
6 器具ブロックの取付

器具ブロックに添付されているネジ2本でプレート底面に固定してください。
(推奨締め付けトルク：0.8N・m)



7 フタを閉める

フタを矢印の方向に回して閉めてください。



■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361